

(様式2)

学校関係者評価報告書

西条農業高等学校

学校番号(10)

評価実施日	令和7年2月21日(金)		
委員	氏名	所属等	備考
	赤穂 将史	西条農業高等学校 PTA会長	
	井上 彰	西条市立西条南中学校 教頭	
	谷口 晃	西条市青少年育成センター 所長	
	佐々木栄子	禎瑞児童クラブ(西条市学童指導員)	
	浜田 誠一	西条市大町公民館 館長	
	近藤 一雄	西条市大町会館 館長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 教育方針・重点努力目標 地域を意識したスクールミッション、さらには、農業高校の専門性を生かしたふれあい体験等、早くから生徒に活動の機会を与えていただいている。引き続き、中高連携をお願いした</p> <p>2 学校生活・学習指導 スライドを見る中で、生徒が楽しく活動している様子がよくわかった。また、高校の取組も理解することができた。</p> <p>3 進路指導 以前、就職ガイダンスを見に来させていただいた。進学では、愛媛大学合格を果たし、また、就職も、地元に残る生徒が多く、測量士補に合格した生徒が、土木の専門性を生かし、地元、西条市役所へ内定されるなど、3年生全員が進路決定を果たし、目標は達成できたのではないかと。これもひとえに、ベースがあったからこそ達成できたことではないだろうか。</p> <p>4 部活動・生徒指導 魅Can部の活動をテレビで見た。本校バドミントン部は、少ない人数の中、社会人やOBに支えられ、地域の大人の方々と一緒に練習することで、活躍してくれている。弓道部の活躍もすばらしい。</p> <p>5 農業教育 地域に目を向けた活動として、千町棚田、高校生レストラン、石鎚黒茶、パイアの取組など、今年度もメディアを賑わせてくれた。また、農業の専門性を生かし、幼稚園児との交流も積極的に行われており、地元の生徒は地元で育てる意識が高まっていることに感謝したい。</p>	<p>・本校では、農業高校の特性を活かし、以前から地域との連携が図られ、幼稚園、小学校等との交流学习、地域を題材にした研究活動が行われている。現在、学年進行とともに、段階を追ってより深化させながら、地域を題材にした取組を深めているところである。今回の貴重な御提案のもとに、地域の関連機関等と連携を図りながら、さらに、地域に根差した取組を行っていききたい。</p> <p>・1時間ごとの授業を大切にすることを意識を持たせたい。授業者も、相互授業参観などの研修を充実させるとともに、ICTを効果的に活用することで、分かる授業を提供していききたい。</p> <p>・本年度、全員が目標としていた自分の夢を叶えることができた。本校では、地元への就職を軸に置き、地域に残る人材を育成しているところであるが、今後、進学・就職ともに、第1希望が叶うよう、個別指導で全力でサポートしていききたい。</p> <p>・今年度、魅Can部の弓道部、さらには、陸上競技部が四国大会に出場するなど、活躍してくれた。部活動が学校の魅力化につながるよう、努めていきたい。また、学校生活では、生徒一人一人がイメージアップを図ることで好循環を生んでいきたい。</p> <p>・地域の方々との交流学习は、生徒たちも大変楽しみにしている学習の一つである。生徒は、事前に学習した内容をしっかり理解し、自分の中でわかりやすくかみ砕き、相手に丁寧に説明することで、生徒への意識も高まる。生徒がさらにやる気がわく仕掛けを、様々な場面で設けていきたい。</p>